



TOYODA GOSEI

2020年7月22日

豊田合成、殺菌用の「深紫外 LED 光源モジュール」を開発

豊田合成株式会社(本社:愛知県清須市、社長:小山享)は、青色 LED の開発・生産で培った技術を活用し、水や空気などの殺菌に用いる「深紫外 LED 光源モジュール」を開発しました。

深紫外 LED はウイルスや細菌の遺伝子情報を壊す波長の短い紫外線を発する LED です。環境への影響が懸念される水銀ランプに替わる新たな殺菌用光源として期待されていることから、当社ではその普及を目指し、防水・放熱などの機能を備えたモジュールやユニットでの製品開発を進めてきました。

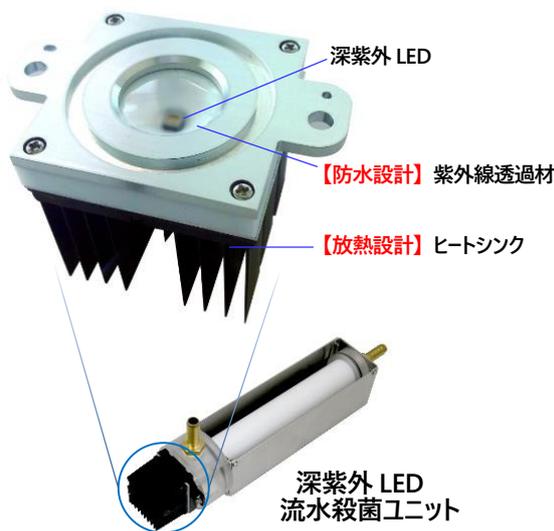
このたび当社はバイオメディカルサイエンス研究会*と共同で、新型コロナウイルス(SARS-CoV2)と極めて近い遺伝子情報を持つヒトコロナウイルス(HCoV-229E)を用いた試験を行い、高い殺菌効果を持つことを実証しました。

今後、安心な社会づくりに貢献するため、トヨタグループをはじめ様々な機器メーカーと共同で、水や空気、物の表面を殺菌する幅広い用途での応用に向けた取り組みを加速させていきます。

当社は長年培ってきたコア技術を通じて、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

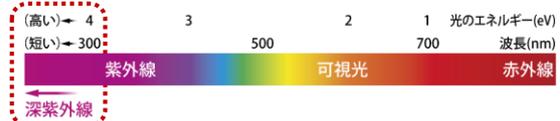
* 医学・薬学・獣医学・農学など生物科学を専攻する国公立研究機関や大学などの出身の専門家により構成された認定特定非営利活動法人

深紫外 LED 光源モジュール

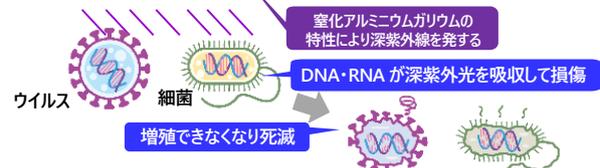
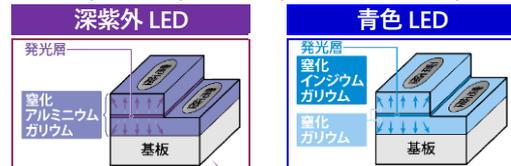


深紫外 LED とは？

- ・光の波長が短い(エネルギーが高い)「深紫外線」を発する LED
- ・ウイルスや細菌の遺伝子情報を壊すため殺菌効果を持つ



青色 LED(照明用光源)との違い (発光素子の断面イメージ)



活用が期待される領域



お問い合わせ先：豊田合成(株) 経理部 森田、内田 (Tel. 052-400-5131)